

早稲田大学教育学部

生涯教育学専修の特色

— 教育は、学校だけのものではありません —



2020年8月

早稲田大学オープンキャンパス

生涯教育学専修の学び

- 生涯教育学専修では新しい「教育」の可能性を考えていきます。教育学に加え、社会学、メディア、コミュニケーション、環境、福祉、ジェンダー論などの観点から学びます。
- カリキュラムの自由度が高く、関心のある多様な科目を履修することができます。
- 社会との関係を重視し、国内外の人々や団体とのネットワークの形成を目指しています。



授業の様子

生涯教育学専修の概要

人間は生涯にわたり成長・発達を続ける存在です。生涯教育はこれまでの学校中心、青少年を対象とした教育のあり方を見直していく考え方です。

本専修では教育を幅広く捉え、子どもや若者の発達、成人、女性、高齢者の学習の可能性、また、地域の学びの場である図書館、博物館、公民館、さらに地域社会の役割などの多様なテーマで研究を進めていきます。

そのために子どもの生活問題とその社会的支援策を考える「子ども論」、キャリア形成や能力開発を検討する「企業内教育」、「経営教育論」、グローバル化する社会の中での「多文化教育論」、市民参画型社会の「NPO・NGO論とボランティア」、視聴覚教育の理論や教育機器の活用を学ぶ「博物館情報・メディア論」があります。

本専修では、様々な教育現場の見学や調査にも力を入れています。アジアをはじめヨーロッパに至るまで幅広くグローバルな視野に立ったカリキュラム編成のもと、留学生を多数受け入れています。

在学中は、生涯教育の専門的職員である社会教育主事、社会教育士の基礎資格が取得できます。

科目の選択により、中学・高校・特別支援学校の教員免許、図書館司書、博物館学芸員を得ることもできます。

卒業後の進路は、国家・地方公務員、生涯教育関連専門職員、中学・高校教員、家庭裁判所調査官、さらに、製造、金融、マスコミなどの幅広い分野の一般企業に就職しています。大学院進学者には大学院教育学研究科への推薦入学制度があり、大学教員として活躍している卒業生も少なくありません。

授業紹介「生涯教育研究－教育費の視点から高等教育・生涯教育を考える」

教育を受けるためには費用が必要です。この費用をだれがどのように負担するかによって、その国の教育の姿は変わってきます。日本では、2020年度から一部を対象とした高等教育無償化が始まります。

この意味や意義をどのように判断すればいいのか、この問いに関連するさまざまなトピックを扱い、これからの教育費負担のあり方、そしてさらには高等教育のあり方について具体的な検討を行うのが、本授業の目的です。

（濱中淳子教授）



専修所属教員

- 小林敦子(教授) 社会教育史、中国教育
- 坂内夏子(教授) 児童サービス、読書教育
- 濱中淳子(教授) 高等教育論、教育社会学
- 前田耕司(教授) 多文化教育、先住民族教育
- 矢口徹也(教授) 青少年教育、女性教育
- 雪嶋宏一(教授) 図書館情報学
- 吉田文(教授) 教育社会学
- 米村健司(教授) 思想学、教育学
- 市川恵子(講師) 音楽教育学
- 李雪(助教)
- 木村友香(助手)

カリキュラム(専門教育科目)

専門必修科目

教育学概論Ⅰ 教育の制度と経営

生涯学習概論Ⅰ,Ⅱ 生涯学習基礎演習

社会教育史Ⅰ,Ⅱ 博物館・情報メディア論

教育社会学 生涯教育研究 教育調査Ⅰ,Ⅱ

社会教育演習Ⅰ,Ⅱ 卒業論文

専門選択科目(その1)

生涯学習支援論、社会教育経営論、社会教育施設実習、道徳教育の理論と実践、高齢者教育論、女性教育論、女性史、子ども論、成人教育論、青少年教育論、教育福祉論、社会福祉論、児童福祉論、家庭教育論、境教育論、学校開放論、多文化教育論、企業内教育論、経営教育論、消費者教育、NPO・NGO論とボランティア、障害者教育原論、発達障害者の心理・生理・病理 肢体不自由者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、発達障害者教育、肢体不自由者教育、病弱者教育

専門選択科目(その2)

知的障害者教育論、重複障害・LD等教育総論、特別支援教育総論、教育リテラシー、倫理学概論、哲学研究、社会教育課題研究、科学思想史、文化人類学研究、

生涯スポーツレクリエーション論、宗教研究、博物館概論、図書館概論、図書館サービス概論、現代社会と行政、行政活動と行政改革、教育心理学概説、教育思想研究、臨床心理学特論、社会心理学特論、実験心理学特論、家族理解と福祉工学

卒業生の声①

吉村真理奈さん(2018年卒)
エイベックス・エンタテインメント
株式会社 レーベル事業本部
(デジタルマーケティンググループ
デジタルプランニングユニット)



卒業論文は女性のキャリアに関するテーマで働く女性にインタビュー調査をしました。学部の4年間で主体的に学び、考察し、検証する姿勢を身につけられました。その経験は今の自信にも繋がり、決まった業務がなくアイデアを実現化する今の業務にも役に立っています。

現在のしごと:ある音楽家やシンガーソングライター、バンドなどの担当として、デジタル領域から宣伝プランやマネタイズプランを企画しています。時にはSNSや音楽配信サービスのデータを分析したり、様々なジャンルの他社の人とコミュニケーションをとって情報をもらって、アーティストのリリースやライブ、プロモーションのプランを考案します。

後輩へのメッセージ:どんな研究やプログラムが受けられるかといったことも大学選びの観点のひとつですが、大学で学んだ知識だけで残りの人生を歩むことはできません。興味や好奇心に従って遊ぶように学ぶ気持ち、課題にぶつかっても諦めないでより良い答えを見つける精神、大学で特別な4年間を過ごしたお互いに鼓舞しあう友人などが、私が早稲田大学で得たものです。

大学はスポーツジムと同じでお金を払って入るだけでは何も結果が得られません。興味や好奇心が持てる対象が見つかったらためらわずに一度挑戦してみしてほしいと思います。

在学中は、学校という枠をこえた「生涯教育」を
実践しようと、アメリカへの交換留学やタンザニア
での長期インターンなどを経験し、人との繋がりや
実際の経験から学ぶことの大切さを知りました。

現在のしごと:入社後、2020年7月中旬まで本
社にて、会計・税務・ファイナンス関連業務を担当。
その後2020年7月下旬からは、子会社にてナッツ
のトレーディング業務に携わっており、世界中のサ
プライヤーと交渉しながら、日本に様々なナッツを
輸入しています。

後輩へのメッセージ:大学生という時間は人生に
おいて特別な時間で、自分次第でどんな過ごし方
も出来ます。私自身、大学時代の様々な経験が、
自分に自信を与えてくれたり、今の仕事にも繋がっ
ていたり、人生に大きな影響を与えていると感じ
ます。早稲田大学では、夢に向かって頑張る事を
応援して下さる素晴らしい先生方との出会いや、
環境に恵まれました。こうした先生方や環境との巡
り合わせがなかったら、在学中にここまで沢山の事
に挑戦することは不可能だったと思います。

私も受験生時代は泣きながら勉強していた程
だったので、受験勉強の辛さはよくわかります。

でも、その辛さを乗り越えられたという経験はそ
の後、何にも変えがたい自信に繋がります。自分
に負けずに、最後まで頑張ってください。

卒業生の声②

松本如沙希さん

(2017年卒)

三菱商事株式会社

(MCアグリアライアンス出向中)

学生時代、タンザニアでの
インターン



卒業後の進路

●教員：小、中、高等学校(公立・私立)、特別支援学校、在外日本人学校(米国他) ●公務員：国家公務員(総合・一般)、都府県庁、東京都23区、全国の市町村、家庭裁判所調査官

●国立大学法人、私立大学、JICA、ボランティア協会など

●(推薦を含む)大学院進学

企業(近年の状況から)

●メーカー(NEC、ニコン、ワコール、森永乳業、資生堂、サントリー他)

●マスコミ(NHK、民放各社)、新聞(朝日、読売、毎日、スポーツ紙)、

●運輸、エネルギー(JR各社、JAL、ANA、東京電力、関西電力、東京

ガス他)、●通信(NTT各社、KDDI)、●金融・保険・不動産(都市銀行

他)、●広告・出版・印刷(電通、博報堂、新潮社、光文社、大日本印

刷、凸版印刷他)、●商社(三菱商事、三井物産、伊藤忠商事他)等

卒業生たちは、国内外の幅広い分野で、活躍しています。